

鮮やかな演奏

岐阜商ダリーンバンド

ローズP、慈善コンサートで観衆沸かす



【写真上】アメリカの正月を彩るローズパレードで堂々のマーチングバンドを披露する県立岐阜商業高校吹奏楽部グリーンバンド(同下)ケネディ高校バフォーミング・アートセンターで開かれたグリーンバンド慈善コンサートに出演する県立岐阜商業高校吹奏楽部グリーンバンド

岐阜商吹奏楽部グリーンバンドのメンバーや父兄、見物した人から寄せられた感想。沼田さんは姉妹弟の3人揃って出場した。

沼田真歩(長女、卒業生、バークッション) 11歳が離れているため、在学中は一緒に演奏することがなかったのですが、今回それが叶いました。弟が木管、妹が金管、私が打楽器とそれぞれ違うパートで面白いと思います。ローズパレードは、観客がとても多い中でパレードでしたが、安心して演奏ができました。夢の舞台に3人揃って演奏することができて、一生の思い出になりました。

沼田華歩(次女、卒業生、ホルン) 11歳の定期演奏会や大会を見に行ったのがきっかけで吹奏楽部に入りました。弟とは1年間いっしょに活動をしましたが、姉とは一緒に演奏することがなかった。

松原由美(松原武史(20歳、卒業生、スーザフォン)の母) 今回の旅はパレードに参加した子どもたちだけではなく、保護者たちにも想像していた以上に素晴らしい感動を与えてくれました。自分の息子があそこで演奏している。That's my son! と思わず大声で叫んでしまいました。演奏している息子はかっ

こよかったのです。子どもたちが得たものは私以上にしよう。これからの彼らの人生に大きな影響を与えていくと思います。それを見たり感じたりすることも私たち保護者の楽しみの一つです。今回の旅は多くの方のご厚意で成り立ったことを心から感謝申し上げます。

岡田はるか(スタッフ) 11ローズパレードでは一糸乱れぬ行進で人々を沸かししました。特にスリラーは誰もが知っている曲で、演奏に加えて、日本人らしく細かいステップなどのアクションを足し、他にないユニークな行進に歓声が上がりました。また、ケネディ高校での演奏会には日本から応援に来てくれた家族や、ホームステイさせた家族も招待し、思いを込めて演奏しました。ステージの家族に手紙を渡し、抱き合い別れを惜しむ場面は、見ているこちらも胸が熱くなりました。

パサデナ市で開催された正月恒例の「第128回ローズパレード」に日本から唯一出場した岐阜県立岐阜商業高校吹奏楽部のメンバー143人。昨年12月末にはデイズニールランド・パレードやパサデナ・バンドフェストにも参加して好評を博したのに続き、1月3日にはオレソング郡ラバルマ市のケネディ高校バフォーミング・アートセンターで開かれたグリーンバンド慈善コンサートに出演し、その見事なパフォーマンスで大喝采を浴びた。

昨年12月28日、29日の両日、デイズニールランドのデーパレードとクリスマス・パレードでは多くの入場者で賑わう園内をパレードして観衆を沸かせ、同31日には小雨をものともせずパサデナ・シテイ・カレッジのグラウンドに、高らかな楽曲を響かせて、規律正しい鮮やかなマーチングバンドを披露した。

年が明けて2日朝からは、全米最大の規模を誇るローズパレードに出場。米国内はもとより世界200カ国以上で

テレビ中継され、約8000万人が視聴したとされる伝統のパレードだ。全長5.6マイル(約9キロ)のコースを2時間かけて堂々と行進する岐阜商マーチングバンドの勇姿が画面いっぱい映し出された。

毎年、コマージュルなして実感しているKTLAテレビでは同校の松井瑠子と、岐阜商出身で現在はパサデナ・シテイ・カレッジで英語とジャズサックスを学んでいる姉の松井美波が、日米の別々のバンドからそろって出場していることも紹介されていた。パレード自体は、音調も行進も動きがきれいに揃っていたうえ、巧みな「足さばき」も軽やかに、コミカルにリズムを刻む。また、カラーガードの女生徒たちもきびきびした動きと若さ溢れる笑顔で沿道の観衆から大きな拍手を浴びながら進む。

翌3日夜は、グリーンバンド慈善コンサート。今回の演奏日程の最後を飾る出演となり、客席には高校生たちが滞在中に世話になったホームステイ先のホストファミリー62家族たちもそろって顔をみせている。プログラムの開幕は、ケネディ高校のジャズバンドとの競演が組まれて、会場は早くも爽やかな熱気に包まれていく。岐阜商バンドはオーブニングの「Fantasy」を荘厳に、そして流れるように演奏し、「From Atlanta to Sea」では躍動感溢れる楽曲に会場の手拍子も加わってステージと観客が一体感を醸し出す。

続く「Heal The World」は、それぞれのソロ演奏をこなし生徒らが次々と客席にいるホストファミリーのもとに駆け寄り、サンキョーカーやブレスの交換をするなどして交流し、感激の涙を拭き拭き最後の名残りを惜しむ抱擁が続く。



全員がステージに戻ると、「Princes of the Caribbean Medley」を華麗に演奏し、ファイナルは「Stars and Stripes Forever」元気に演奏を締めくくった。

アンコールとして用意されていたのは手足を音楽に合わせた、出演者と観客が一緒に踊るダンス・タイム。再び会場は賑やかな盛り上がりを見せ、笑顔をはじかせながらコンサートの余韻が会場全体を包み込んだ。

グリーンバンド慈善コンサートは当初、南カリフォルニア森林火災の復興を支援する目的で企画されたコンサート。今年は、このコンサートで集まった寄付金はすべてデネシー州の森林火災と東日本大震災による犠牲者家族の救済に充てられた。

【敬称略】石原 嵩

- 1月22日(日)
- ▽AAJUW新年総会並びに奨学金授与式@小東京のミヤコホテル(午前11時)
 - ▽南加和歌山県人会・同郷人会新年総会並びに親睦会@レイクウッド市のThe Center at Shoreline Plaza(午前11時)
 - ▽JWRO無料健康相談室「敬老運動の現状と展望」@リトル東京の日本文化会館ミーティングルーム(午後1時)
 - ▽美川憲一ショー@トールレンス市のアームストロング劇場(午後1時・6時)
 - ▽南加福岡県人会と新年祝賀会@ホリデーイン・トールレンス(午前10時半)
 - ▽南加島根県人会と新年祝賀会及び奨学金授与式@モンテペロ市のクワイエット・キャノン(午前10時半)
 - ▽南加同郷人会新年親睦会@トールレンス市のXuma(午前11時半)
 - ▽南加神奈川県人会新年親睦会@クワイエット・キャノン(午前11時)
 - ▽南加岡山県人会新年親睦会@Royal Garden Restaurant in Carrizo(午前11時半)
 - ▽南加神奈川県人会新年親睦会および追悼式@Carson Buffet in Carson(午前11時)

「お断り」音楽の散歩道は紙面の都合により24日(火)付に掲載します。

コミュニティ・カレンダー